

2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）



2023年10月31日

上場会社名 株式会社大冷 上場取引所 東
コード番号 2883 URL <https://www.dai-rei.co.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 富田 史好
問合せ先責任者（役職名） 専務取締役管理統括本部長（氏名） 黒川 岳夫（TEL）03(3536)1551
四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家、アナリスト向け）
(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	13,964	6.5	560	△26.1	590	△26.1	398	△26.1
2023年3月期第2四半期	13,107	18.5	758	68.1	799	77.7	539	79.1
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2024年3月期第2四半期	67.45		—					
2023年3月期第2四半期	91.27		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	15,141	9,357	61.8
2023年3月期	12,826	9,310	72.6

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 9,357百万円 2023年3月期 9,310百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	—	—	60.00	60.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,300	11.2	1,600	4.9	1,600	4.1	1,097	7.1	185.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記(4) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期2Q	6,008,300株	2023年3月期	6,008,300株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2024年3月期2Q	98,627株	2023年3月期	98,627株
------------	---------	----------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期2Q	5,909,673株	2023年3月期2Q	5,909,673株
------------	------------	------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、2023年5月に新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類に移行され、日常生活の制約や社会活動への制限が緩和され、消費活動が正常化に向かい、緩やかな回復傾向が見受けられています。しかしながら、急激な為替相場の変動や、ウクライナ情勢の長期化、電気やガソリンなどのエネルギー価格の上昇などにより、先行きは不透明な状況が続いております。

国内食品業界におきましては、市場の回復により深刻化する人手不足、人手不足による労働コストの上昇、原料価格やエネルギー価格の高騰、円安進行に伴う物価上昇が続いており、値上げや商品価格の見直しが実施される一方で、実質賃金が低下している状況下で個人消費を引き締める傾向が続いており、今後も厳しい経営環境が続くことが予想されます。

このような状況のもと当社は、直接貿易で調達したえび商品の販売や取引先展示会での新商品の販売など、積極的に営業活動を進めてまいりました。以上の結果、骨なし魚事業におきましては、「ダイスカットシリーズ」など当社独自商品の拡販や原料値上げに伴う販売価格改定により売上高5,428,753千円（前年同期比8.6%増）、ミート事業におきましては、「楽らく匠味シリーズ」の販売強化などにより売上高1,235,629千円（前年同期比0.6%増）、その他事業におきましては、大手ユーザーへの商品拡販などにより売上高7,299,966千円（前年同期比6.1%増）となりました。これにより当第2四半期累計期間の売上高は13,964,349千円（前年同期比6.5%増）となりました。

損益面につきましては、粗利率の低下は想定通りに推移したものの、滞留在庫消化による値引金額増加により、営業利益は560,695千円（前年同期比26.1%減）、経常利益は590,720千円（前年同期比26.1%減）、四半期純利益は398,626千円（前年同期比26.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第2四半期会計期間末における総資産は、15,141,425千円となり、前事業年度末と比較して2,314,611千円増加となりました。これは主に現金及び預金が690,657千円、受取手形及び売掛金が787,892千円増加したことによるものです。

(負債の部)

当第2四半期会計期間末における負債合計は、5,784,210千円となり、前事業年度末と比較して2,267,640千円増加となりました。これは主に未払法人税等が171,667千円減少した一方で、買掛金が1,977,721千円、短期借入金が510,000千円増加したことによるものです。

(純資産の部)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は、9,357,215千円となり、前事業年度末と比較して46,971千円増加となりました。これは主に四半期純利益の398,626千円計上と配当金の支払354,580千円により利益剰余金が44,046千円増加したことによるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物は、前事業年度末に比べて690,657千円増加して3,347,766千円となりました。当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、614,655千円の収入（前年同期は790,040千円の支出）で、主な収入要因は税引前四半期純利益590,720千円、仕入債務の増加額1,977,721千円であります。一方、主な支出要因は売上債権の増加額787,892千円、棚卸資産の増加額526,794千円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、94,485千円の支出（前年同期は896千円の支出）で、支出の主なものは貸付けによる支出74,144千円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、149,593千円の収入（前年同期は111,561千円の収入）で、収入要因は短期借入金の純増額510,000千円であります。一方、主な支出要因は配当金の支払額354,580千円であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の将来予想につきましては、2023年5月10日に公表いたしました業績予想から変更ございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,657,108	3,347,766
受取手形及び売掛金	4,690,330	5,478,223
商品	2,784,061	3,311,274
前渡金	1,450,192	1,671,486
その他	48,614	65,506
流動資産合計	11,630,308	13,874,257
固定資産		
有形固定資産	685,338	668,122
無形固定資産	16,813	14,821
投資その他の資産		
その他	501,663	591,533
貸倒引当金	△7,310	△7,310
投資その他の資産合計	494,353	584,223
固定資産合計	1,196,504	1,267,168
資産合計	12,826,813	15,141,425
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,791,242	3,768,963
短期借入金	300,000	810,000
未払法人税等	395,361	223,694
賞与引当金	49,467	32,415
役員賞与引当金	26,200	20,255
その他	555,346	530,963
流動負債合計	3,117,617	5,386,292
固定負債		
退職給付引当金	263,184	270,744
その他	135,767	127,173
固定負債合計	398,951	397,917
負債合計	3,516,569	5,784,210
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,909,825	1,909,825
資本剰余金	686,951	686,951
利益剰余金	6,909,077	6,953,124
自己株式	△200,091	△200,091
株主資本合計	9,305,763	9,349,809
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4,481	7,405
評価・換算差額等合計	4,481	7,405
純資産合計	9,310,244	9,357,215
負債純資産合計	12,826,813	15,141,425

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	13,107,276	13,964,349
売上原価	10,710,834	11,735,500
売上総利益	2,396,441	2,228,849
販売費及び一般管理費	1,637,752	1,668,153
営業利益	758,688	560,695
営業外収益		
受取賃貸料	4,488	4,488
為替差益	34,599	20,894
その他	2,710	7,897
営業外収益合計	41,797	33,279
営業外費用		
賃貸収入原価	1,446	1,472
その他	14	1,781
営業外費用合計	1,460	3,254
経常利益	799,026	590,720
税引前四半期純利益	799,026	590,720
法人税等	259,627	192,094
四半期純利益	539,398	398,626

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	799,026	590,720
減価償却費	10,649	19,206
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	77	—
受取利息及び受取配当金	△299	△1,504
支払利息	10	1,637
賞与引当金の増減額 (△は減少)	24,873	△17,052
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	—	△5,944
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	15,276	7,559
売上債権の増減額 (△は増加)	△741,917	△787,892
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△354,762	△526,794
前渡金の増減額 (△は増加)	△463,845	△221,293
仕入債務の増減額 (△は減少)	14,794	1,977,721
その他	85,327	△60,700
小計	△610,789	975,663
利息及び配当金の受取額	299	377
利息の支払額	△121	△1,760
法人税等の支払額	△179,430	△359,625
営業活動によるキャッシュ・フロー	△790,040	614,655
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△309	—
無形固定資産の取得による支出	△713	—
投資有価証券の取得による支出	△232	△20,724
貸付けによる支出	—	△74,144
その他	359	383
投資活動によるキャッシュ・フロー	△896	△94,485
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	500,000	510,000
リース債務の返済による支出	△4,309	△5,826
配当金の支払額	△384,128	△354,580
財務活動によるキャッシュ・フロー	111,561	149,593
現金及び現金同等物に係る換算差額	34,599	20,894
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△644,776	690,657
現金及び現金同等物の期首残高	2,743,246	2,657,108
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,098,470	3,347,766

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。